

勝田駐屯地・施設学校の歴史(昭和編)

時期	名 称	活動・担任等部隊
S 26	勝田駐屯地開設	駐屯地全部隊
	警察予備隊第1施設大隊が愛知県豊川から移駐(現在の施設教導隊)	施設教導隊
S 27	施設学校開設	施設学校
S 28	勝田駐屯地初の災害派遣	施設教導隊
S 29	陸上自衛隊施設学校に改称	施設学校
S 30	勝田小演習場開設	駐屯地全部隊
S 31	茨城町 長岡射撃場開設	施設学校
S 32	水戸市 枝川で渡河演習開始	施設学校
S 33	旧貯水槽兼プールの自隊施工	施設学校
S 34	愛知県 伊勢湾台風災害派遣	施設教導隊
S 35	基地通信隊の編成	基地通信中隊
	岩手県陸前高田 チリ地震津波災害派遣	施設教導隊
S 36	ひたちなか市馬渡地区「昭和通り」部外工事	施設学校
S 37	県内駐屯地合同 水戸市内観閲行進	駐屯地全部隊
S 38	自衛隊記念日 勝田市内観閲行進	駐屯地全部隊
S 39	第310施設野整備大隊が移駐(現在の施設教直接支援中隊)	施教直支中隊
	新潟県新潟市 新潟地震災害派遣	施設教導隊
S 40	工兵史料館 開館	施設学校
S 41	隊員クラブ開店	施設学校
S 42	施設教導大隊80km行進	施設教導隊
S 43	水戸市で「一日防衛展」を実施	駐屯地全部隊

時期	名 称	活動・担任等部隊
S 44	駐屯地正門に門扉を新設	施設学校
S 45	常陸太田市「里見牧場内青少年研修所」敷地造成部外工事	施設教導隊
S 46	勝田市武田地先 国鉄常磐線築堤決壊災害派遣	施設教導隊
S 47	美浦村 統合小学校敷地造成部外工事	施設教導隊
	水戸市常澄 総合グラウンド整地部外工事	施設教導隊
	茨城県殉職者慰霊碑除幕式	施設学校
S 48	北茨城市 茜平青少年の家 グラウンド造成部外工事	施設教導隊
	勝田市 勝田高校 グラウンド造成部外工事	施設教導隊
	大洗町 大洗高校 敷地造成部外工事	施設教導隊
	常陸大宮市 山方町総合グラウンド 造成部外工事	施設教導隊
	常陸太田市 常陸太田高校 敷地造成部外工事	施設教導隊
	茨城郷土部隊史料館(防衛館の前身)	施設学校
S 49	茨城国体 競技運営協力	施設教導隊
	大子町 県立大子二校 移転敷地造成部外工事	施設教導隊
	勝田市「はしかべ市道」築造部外工事	施設教導隊
	常陸太田市 佐竹高校 敷地造成部外工事	施設教導隊
	桜川市真壁 真壁産業道路 開設部外工事	施設教導隊
S 50	かすみがうら市 新治小学校 グラウンド拡張部外工事	施設教導隊
	高萩市 松ヶ丘高校 グラウンド造成部外工事	施設教導隊

勝田駐屯地・施設学校の歴史(昭和編)

[TOPに戻る](#)

時期	名 称	活動・担任等部隊
S 51	笠間市 笠間中学校 校舎敷地造成部外工事	施設教導隊
	茨城町運動公園 整地部外工事	施設教導隊
S 52	城里町桂村 村民運動公園 整地部外工事	施設教導隊
	北茨城市 防疫災害派遣	施設教導隊
	日立市十王町 総合運動場 整地部外工事	施設教導隊
S 53	北茨城市 北茨城高校 敷地造成部外工事	施設教導隊
	国鉄常磐線水戸～赤塚駅間 貨車脱線事故 災害派遣	施設教導隊
	城里町七会村 村営総合グラウンド 整地 部外工事	施設教導隊
	高萩市 君田中学・小学校 建設敷地造成部 外工事	施設教導隊
	勝田まつり(現ひたちなか祭)最初の花火打上	施設学校
S 54	ひたちなか市 射爆場跡地運動ひろば 部外 工事	施設教導隊
	施設学校音楽隊長による土浦市立右籾小学 校校歌の作曲	施設学校
S 55	つくばみらい市伊奈村 村営運動公園 整地 部外工事	施設教導隊
	ひたちなか市 平磯中学校 グラウンド拡張 部外工事	施設教導隊
S 56	笠間市 南小学校 敷地造成部外工事	施設教導隊
S 57	笠間市 東小学校 敷地造成部外工事	施設教導隊
	茨城町 長岡第二小学校 敷地造成部外工事	施設教導隊
	鉾田市 総合運動公園 敷地造成部外工事	施設教導隊

時期	名 称	活動・担任等部隊
S 58	米軍射爆場跡 那珂湊市総合運動公園 造成 部外工事	施設教導隊
S 59	大子町 生瀬小学校 敷地造成部外工事	施設教導隊
S 60	工兵活動教育センター及びビジュアル教材 センター完成 (現在のエンジニアセンターの前身)	施設学校
S 61	台風10号豪雨災害派遣	施設学校
S 62	大洗町 総合運動公園 敷地造成部外工事	施設教導隊
S 63	東海村 国立晴嵐荘病院 部外工事	施設教導隊

昭和26年 勝田駐屯地開設

戻る



6月3日 当時は東部方面隊管区
だった愛知県豊川駐屯地から警察
予備隊第1施設大隊が日立兵器跡
地(現・駐屯地西地区)に移駐して、
勝田駐屯地が誕生
(現在の施設教導隊の前身)



開設当初は旧・日立兵器から存在した
木造舎屋を営内隊舎として使用



9月3日 勝田駐屯地内に警察予備隊
「施設講習所」を開設
(現在の陸自施設学校の前身)



勝田駐屯地の歴史上最初の災害派遣となった「昭和28年西日本豪雨」における熊本県熊本市での豪雨災害派遣

熊本市子飼橋付近の被災状況



泥土を除去中の隊員

昭和34年 愛知県 伊勢湾台風災害派遣

戻る



杭を打入中の隊員



水防作業中の隊員。中央に見えるのは「勝田第一〇七施設大隊」の旗

昭和35年 岩手県陸前高田 ちり地震津波災害派遣

戻る



俵土嚢を船で運搬中の隊員



俵に土を入れた土嚢を水中に投入し応急道路を構築



ドーザにより道路を整地中の施設教導隊



勝田から出発する隊員



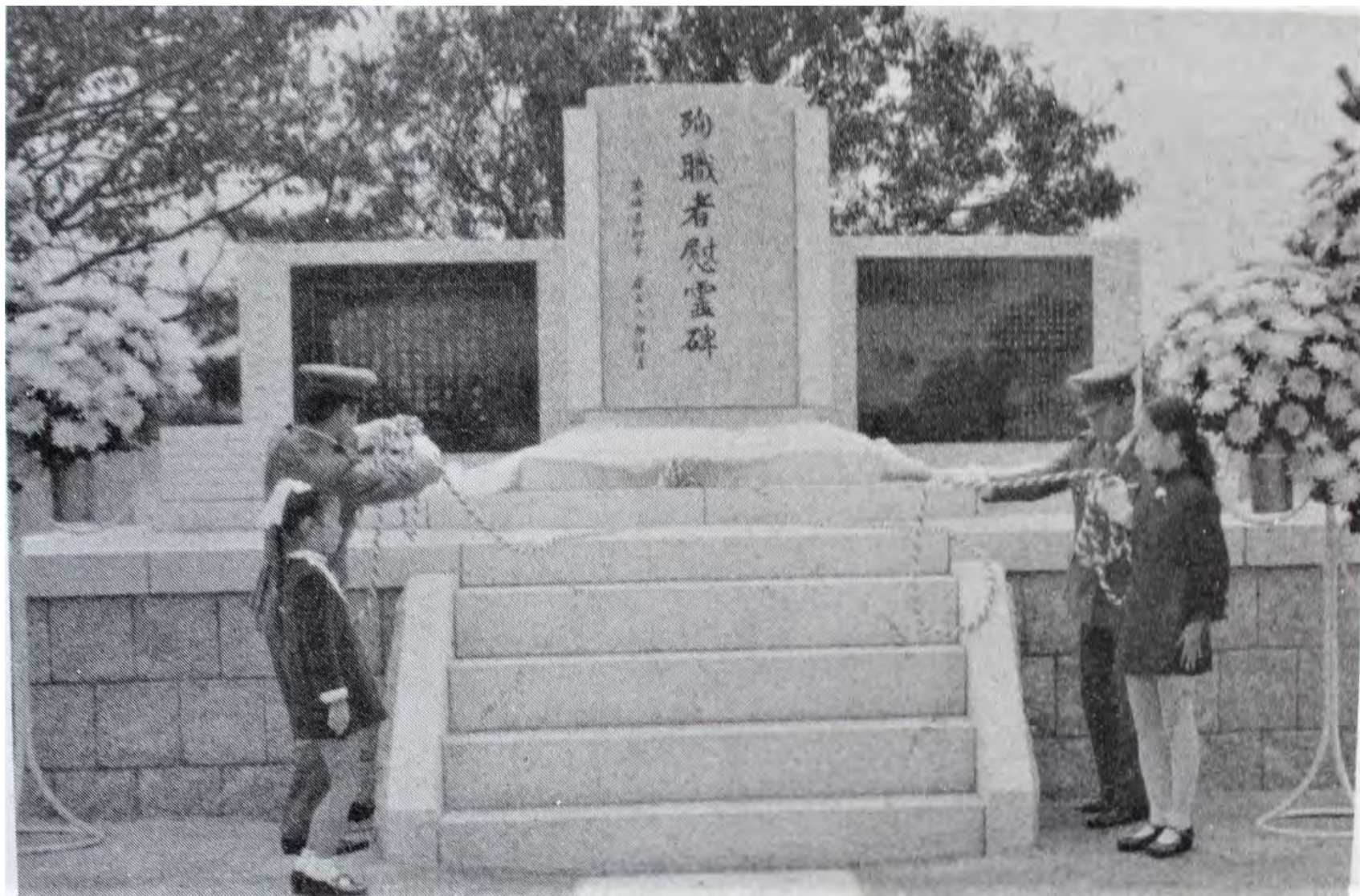
新潟市の昭和大橋で活動中の隊員

昭和40年 工兵史料館 開館

戻る



現在の防衛館の前身の一部である旧陸軍
工兵関連史料を総合的に収集・展示した、
教育・研究のための史料館



茨城県知事(当時)岩上二郎 氏の書で、県防衛協会会長(当時)幡谷祐一 氏の寄贈

昭和48年2月5日

勝田

標高三百五十米の茜平で
部外工事始まる

施設教導大隊第三中隊平池純逸 一見して市民三厨以下二十一名は、一月十一日 全般に周知でから二月二十四日までの予定で、きるよう配慮北茨城市茜平青少年の家のグランド造成工事を実施している。自衛隊工事着この地域は標高三百五十mの景工を、市広報勝地で、眼下に洋々たる太平洋、紙に掲載して背後に阿武隈山系の連山を望む大Rする等、その自然の環境に恵まれたところで、の理解ある協北茨城市における社会体育施設としての市立青少年の家が所在して力には感謝せいるところである。ざるを得ない。

作業隊は、この立派な施設内にわれわれ作宿泊し、野球場、テニスコート、業隊は、このパレーボールコート等の総合グラような環境のンド造成工事を市当局と市民の協中で日夜励み、力により実施中である。一月二十四日

作業現場は、青少年の家の見学完成を目標に者及び宿泊利用者等にも見学でき一致団結、隊るようにして、自衛隊に対する理長の統平方針解を深めるとともにまた市内数ヶ「和」を中心所には作業隊広報板を掲示して、に努力してい

お知らせ

青少年の家は施設見学の申し込みから御遠慮なくお入り下さい
陸上自衛隊施設学校施設教導大隊
第三中隊の御協力によりグランド
整地作業を完了してあります
現場を見学して下さい
茜平市青少年の家

並列推進中のドーザー作業

北駐

「現場を見学して下さい」と書かれた看板。当時、部外工事は自衛隊の広報活動の一翼を担うものだった。



平素の渡河訓練の練成成果が発揮されたヨット競技支援



マラソン競技での審判員の車両輸送支援

この日は、七時の開門と同時に、式次第は盛大に進行し、漕艇は、皇太子殿下から慰労のお言葉

水郷の美、潮来町漕艇競技会場の各県選手団は栄冠をこの腕にとばかりに競い合つて大会の盛り上りは最高、この大会を大成功に終らせようと漕艇支援隊は「陰の力」として強風雨の中を献身的な支援を行ない、関係者、選手団に深い感銘を与え、特に、九日御視察にこられた皇太子殿下から慰労のお言葉をいただいた。

漕艇競技は、八日九時開式、同十時から十一日十二時まで競技が行なわれたが、各県選手団は、日やけた顔に闘志満々で栄光一すじに連日競い合い、九日は十八号台風余波による強風雨の悪条件を克服して闘つていた姿は勇姿そのものであつた。

漕艇

皇太子殿下から慰労のお言葉

台風余波に苦難の支援隊

一尉以下百四名も、三日から支援準備作業を始めたが、十六号台風余波の大雨で会場の常陸利根川が平常水位より七〇cmも高く作業にマツタをかけられたが、減水の見込みもなく四苦八苦して万全の準備を行ない、大会には、九日の十八号台風余波の強風雨に悩まされたが統制ある行動で整齊と支援任務を完遂し「さすがに自衛隊さんの動作は立派だ」と関係者を始め町民が感激していた。

皇太子殿下御夫妻も、九日十三時三十分御視察に来られ約二十分間御観戦されたが、折からの強風雨の中で整然として競技が進められていた状況をご高覧になられ、町当局および関係者の労をねぎらうお言葉があつた。この際、大会委員長から「台風の影響で準備が大変であつたが、自衛隊の整齊円滑、献身的な支援により、このよきな立派な競技運営ができ、目立



当時の皇太子殿下(現・上皇陛下)の慰労の御言葉をいただいた漕艇競技支援

昭和53年 国鉄常磐線水戸～赤塚駅間 貨車脱線事故災害派遣



勝田駐屯地のクレーンを使用して線路から脱線転落した車両の引揚を実施

昭和53年 勝田まつり(現ひたちなか祭)最初の花火打上

昭和53年9月5日 勝 田

夜空を彩る花火と盆踊り大会

駐とん地で地域の皆さんと合同「勝田まつり」の前夜祭



きてよかった、またこよう
六千五百の人でにぎわう会場

例年にないうだるような暑さの中、ことしで十回目を迎えた恒例の「勝田まつり」が、中央町通り、表町通り、自衛隊勝田駐とん地を中心に八万市民が参加して盛大に行われた。

駐とん地もあげてこれに参加、地域住民との親睦をより深めた。花火が夏の夜空を彩る。その際には駐とん地をあげて参加し「や輝きに浮き出された見上げる人、人の明るい顔、明るい歓声、まさに夏の夜の風物詩を代表する光景が駐とん地の當庭一杯に照し出された。

八月十九日、二十日は「勝田まつり」。例年この「勝田まつり」

準備をすすめ約六千五百人の市民とともに夏の夜の一刻を楽しんでんだ。この夜、午後六時から約三十分の間第一師団音楽隊の野外演奏会が開かれ、アンコール演奏も二度に及ぶといつた盛況ぶり、その後地元子供会を主体とする盆踊り(勝田音頭)が行われ約四

現在まで続く「ひたちなか祭」での花火打上の第1回目

昭和57年 笠間市 東小学校 敷地造成部外工事

工事の完成後の景況

校舎敷地造成工事終る

教導隊の見事な成果

笠間市立東小学校

施設教導隊が、五月六日から六月十日までの予定で実施していた笠間市立東小学校校舎敷地造成工事は、六月五日（工事予定期間を五日間短縮）整地された現地において厳粛に引渡式が行われた。

この工事は、第一中隊渡辺二尉以下二千七名の作業隊の編成で、整地面積、二万三千四百三十平方メートル、総土量、三万四千五百立方メートル、当初ドーザ五台、油圧ショベル二台で実施していたが、工事半ばで、ドーザ二台を追加投入し早期完成を図った、この作業は平均切土高さが六メートルで切土した土砂を谷に埋める作業であり、ドーザ作業練成には理想的な訓練の場でもあ

（写真）上、完成通達書確認受領書の交換
下、完成した校舎敷地



あまり絡か事異... び時式山事のちる

新校舎を待ち

焦がれる生徒の

作文より

（大橋小学校・池野辺小学校）

と感謝の言葉が述べられた

自衛隊のみなさんへ
大橋小 四年 友部和恵

自衛隊のみなさん、毎日毎日暑いのにたいへんです。早く新しい東小学校に入るのがたのしみです。こんなに着い日、わたしは、プールにはいりたいなあと思います。本当にごくろうさまです。こないだの土曜日に行、たとき大きい学校ができるんだらうなあ、とドキドキしました。それに、ブルドーザーもたくさんうごいていて、ぐりぐりしました。

2
これから暑いでしうけれど、けがをしたように、がんばってください。

池野小 五年 赤尾 昌美

白衛隊のみなさんへ
池野小 五年 赤尾 昌美

白衛隊のみなさん、毎日暑いのに、わたしたちの学校を建ててください。こごうもありません。

ブルドーザーやシンベローで土地を平らにしている所を毎度も見たいなあと思います。とてもひろびろとした土地です。あんなに広い所を毎日仕事をしてくれている、さう、わたしもあんなに働きます。

がんばってや、てください。

体育館や、プールなどができるといいな、おに待っています。それに、きょと広い校舎や、運動場がでることでしょう。みんなが待っています。

がんばって少しでも早く、きれいな学校を造ってください。早くできるのを待っています。わたしたちも、きょ、きれいに大事に使いますので、せい、ばい、をこめて作って、ください。わたしたちも、おんが、がんばり、自衛隊のみなさんへ、ありがとうございます。

完成後の小学校に入学する小学生から寄せられた作文

昭和61年 台風10号豪雨災害派遣



ボートでの人命救助活動



那珂川の増水で寸断された国道123号